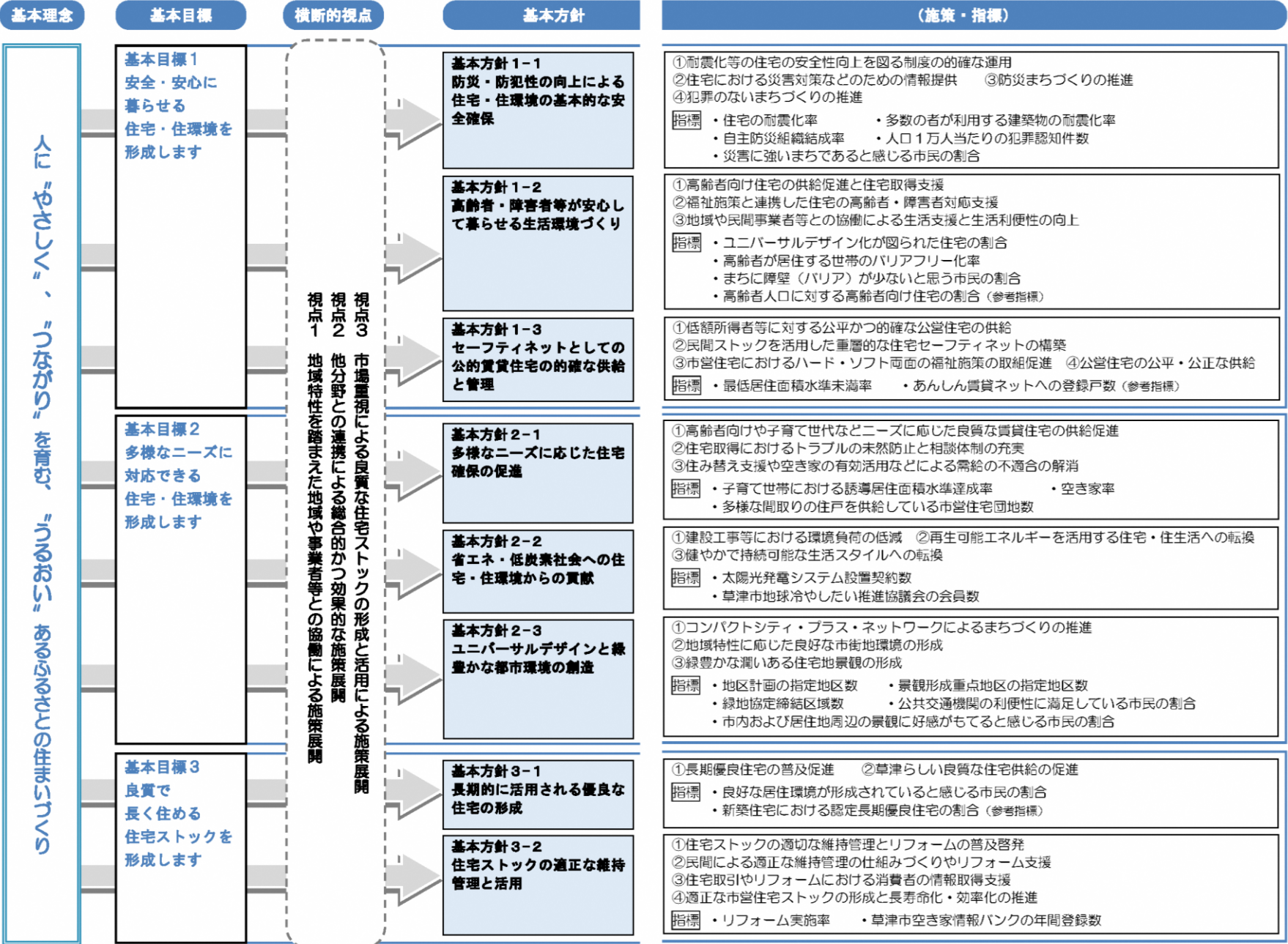


現草津市住宅マスタープラン等 の取組状況

現草津市住宅マスタープランの施策体系



現草津市住宅マスタープランの成果指標の達成状況

◆成果指標 一覧

| | | 指標名 | 当初値 | 現状値 (H29計画 改定時) | 目標値 | 達成状況 |
|--|---|-------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------|--------------------------|
| 基本目標1 安全・安心に 暮らせる 住宅・住環境を 形成します | 基本方針1-1 防災・防犯性の向上による 住宅・住環境の基本的な 安全確保 | 住宅の耐震化率 | 84.5% (平成19年) | 84.5% (平成27年) | 95% (令和2年) | 92.1% (平成30年・ 参考※) |
| | | 多数の者が利用する 建築物の耐震化率 | 79.7% (平成19年) | 94.6% (平成27年) | 95%以上 (令和2年) | 94.6% (平成27年※) |
| | | 自主防災組織結成率 | 92.8% (平成23年) | 92.3% (平成27年) | 100% (令和3年) | 95.3% (令和3年) |
| | | 人口1万人当たりの 犯罪認知件数 | (177.9件)※ (平成22年) | 123.4件 (平成27年) | 88件 (令和3年) | 47.8件 (令和3年) |
| | | 災害に強いまちであると 感じる市民の割合 | (66.0%)※ (平成23年) | 21.5% (平成27年) | 26.0% (令和2年) | 23.9% (令和2年) |

※目標値の年次は令和で置き換えを行っている（平成32年⇒令和2年など）

※「住宅の耐震化率」、「多数の者が利用する建築物の耐震化率」の現状値については
 詳細調査と率算出が必要であり未算出のため、平成29年計画改定時の数値をもって目標
 値をほぼ達成としている。平成30年の住宅耐震化率は、平成30年度住宅・土地統計調査
 を基に県が算定した率を参考値として記載

※（斜字）で示す当初値は、読み替え前の数値を参考に掲載している

…目標値達成、ほぼ達成
 …目標値未達成

現草津市住宅マスタープランの成果指標の達成状況

◆成果指標 一覧

| | | 指標名 | 当初値 | 現状値 (H29計画 改定時) | 目標値 | 達成状況 |
|--|---|------------------------|--------------------|-----------------------|---------------|-------------------|
| 基本目標1 安全・安心に 暮らせる 住宅・住環境を 形成します | 基本方針1-2 高齢者・障害者等が安心して暮らせる生活環境づくり | ユニバーサルデザイン化が図られた住宅の割合 | 14.8% (平成20年) | 15.0% (平成25年) | 32% (令和2年) | 14.5% (平成30年) |
| | | 高齢者が居住する世帯のバリアフリー化率 | 42.4% (平成20年) | 50.0% (平成25年) | 90% (令和2年) | 48.1% (平成30年※) |
| | | まちに障壁(バリア)が少ないと思う市民の割合 | (43.0%) (平成23年) | 28.2% (平成28年) | 30% (令和2年) | 30.4% (令和2年) |
| | 基本方針1-3 セーフティネットとしての公的賃貸住宅の的確な供給と管理 | 最低居住面積水準未達率 | 3.8% (平成20年) | 6.5% (平成25年) | 早期に解消 | 6.2% (平成30年※) |

※目標値の年次は令和で置き換えを行っている（平成32年⇒令和2年など）
 ※（斜字）で示す当初値は、読み替え前の数値を参考に掲載している

…目標値達成、ほぼ達成
 …目標値未達成

現草津市住宅マスタープランの成果指標の達成状況

◆成果指標 一覧

| | | 指標名 | 当初値 | 現状値 (H29計画 改定時) | 目標値 | 達成状況 |
|--|--|----------------------------------|--------------------|-----------------------|------------------|--------------------|
| 基本目標2 多様なニーズに 対応できる 住宅・住環境を 形成します | 基本方針2-1 多様なニーズに応じた 住宅確保の促進 | 子育て世帯における誘導 居住面積水準達成率 | 48.8% (平成20年) | 51.5% (平成25年) | 60% (令和2年) | 45.2% (平成30年) |
| | | 空き家率 | 10.7% (平成20年) | 9.2% (平成25年) | 現状維持 (令和3年) | 10.4% (平成30年) |
| | | 多様な間取りの住戸の供 給をしている市営住宅 団地数 | 2団地 (平成22年) | 3団地 (平成27年) | 3団地 (令和3年) | 3団地 (令和3年) |
| | 基本方針2-2 省エネ・低炭素社会への 住宅・住環境からの貢献 | 太陽光発電システム設置 契約数 | 1,100口 (平成23年) | 3,400口 (平成27年) | 4,500口 (令和3年) | 3,400口 (平成27年※) |
| | | 草津市地球冷やしたい推 進協議会の会員数 | (25.0%) (平成23年) | 72人 (平成28年) | 80人 (令和2年) | 75人 (令和2年) |
| | | | | | | |

※目標値の年次は令和で置き換えを行っている（平成32年⇒令和2年など）
 ※電力自由化に伴い、太陽光発電システム設置契約数については把握できないため、平成29年計画改定時の数値を達成状況としている
 ※（斜字）で示す当初値は、読み替え前の数値を参考に掲載している

…目標値達成、ほぼ達成
 …目標値未達成

現草津市住宅マスタープランの成果指標の達成状況

◆成果指標 一覧

| | | 指標名 | 当初値 | 現状値 (H29計画 改定時) | 目標値 | 達成状況 |
|--|--|---------------------------------------|--------------------|-----------------------|----------------|-----------------|
| 基本目標2 多様なニーズに 対応できる 住宅・住環境を 形成します | 基本方針2-3 ユニバーサルデザインと 緑豊かな都市環境の創造 | 地区計画の指定地区数 | 8地区 (平成23年) | 9地区 (平成28年) | 12地区 (令和3年) | 13地区 (令和3年) |
| | | 景観形成重点地区の 指定地区数 | 0地区 (平成23年) | 2地区 (平成28年) | 13地区 (令和3年) | 3地区 (令和3年) |
| | | 緑地協定締結区域数 | 8地区 (平成23年) | 14地区 (平成27年) | 15地区 (令和3年) | 17地区 (令和3年) |
| | | 公共交通機関の利便性に 満足している市民の割合 | (54.3%) (平成23年) | 44.7% (平成28年) | 46% (令和2年) | 46.4% (令和2年) |
| | | 市内および居住地周辺の 景観に好感がもてると 感じる市民の割合 | (66.0%) (平成23年) | 33.7% (平成28年) | 37% (令和2年) | 37.7% (令和2年) |

※目標値の年次は令和で置き換えを行っている（平成32年⇒令和2年など）
 ※（斜字）で示す当初値は、読み替え前の数値を参考に掲載している

…目標値達成、ほぼ達成
 …目標値未達成

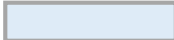
現草津市住宅マスタープランの成果指標の達成状況

◆成果指標 一覧

| | | 指標名 | 当初値 | 現状値 (H29計画 改定時) | 目標値 | 達成状況 |
|---|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|
| 基本目標3 良質で 長く住める 住宅ストックを 形成します | 基本方針3-1 長期的に活用される 優良な住宅の形成 | 良好な居住環境が 形成されていると感じる 市民の割合 | (63.1%) (平成23年) | 67.6% (平成28年) | 72% (令和2年) | 71.1% (令和2年) |
| | 基本方針3-2 住宅ストックの適正な 維持管理と活用 | リフォーム実施率 | 4.8% (平成16～ 20年平均) | 5.6% (平成21～ 25年平均) | 6% (令和2年) | 5.1% (平成26～30 年平均) |
| | | 草津市空き家情報バンク の年間登録数 | 新規追加 の指標の ため無し | 1件 (平成28年) | 5件 (平成29～ 32年平均) | 2件 (令和2年) |

※目標値の年次は令和で置き換えを行っている（平成32年⇒令和2年など）

※（斜字）で示す当初値は、読み替え前の数値を参考に掲載している

 …目標値達成、ほぼ達成

 …目標値未達成

現草津市住宅マスタープランの取組状況の評価

| 基本目標 | 基本方針 | 主な指標 | 指標評価 | |
|--|---|--|-------|----------|
| 基本目標1 安全・安心に暮らせる 住宅・住環境を形成します | 基本方針1-1 防災・防犯性の向上による住宅・住環境の基本的な安全確保 | 住宅の耐震化率、 自主防災組織結成率など | 3個／5個 | ほぼ 達成 |
| | 基本方針1-2 高齢者・障害者等が安心して暮らせる生活環境づくり | ユニバーサルデザイン化が図られた住宅の割合、 まちに障壁(バリア)が少ないと思う市民の割合など | 1個／3個 | 未達成 |
| | 基本方針1-3 セーフティネットとしての公的賃貸住宅の的確な供給と管理 | 最低居住面積水準未達率 | 0個／1個 | 未達成 |
| 基本目標2 多様なニーズに対応できる 住宅・住環境を形成します | 基本方針2-1 多様なニーズに応じた住宅確保の促進 | 空き家率、多様な間取りの住戸の供給をしている 市営住宅団地数など | 2個／3個 | ほぼ 達成 |
| | 基本方針2-2 省エネ・低炭素社会への住宅・住環境からの貢献 | 太陽光発電システム設置契約数、 草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数 | 0個／2個 | 未達成 |
| | 基本方針2-3 ユニバーサルデザインと緑豊かな都市環境の創造 | 地区計画の指定地区数、緑地協定締結区域数、 公共交通機関の利便性に満足している市民の割合など | 4個／5個 | ほぼ 達成 |
| 基本目標3 良質で長く住める 住宅ストックを形成します | 基本方針3-1 長期的に活用される優良な住宅の形成 | 良質な居住環境が形成されていると感じる市民の割合 | 1個／1個 | 達成 |
| | 基本方針3-2 住宅ストックの適正な維持管理と活用 | リフォーム実施率、 草津市空き家情報バンクの年間登録者数 | 0個／2個 | 未達成 |

 …目標値達成、ほぼ達成
 …目標値未達成

◆取組状況の評価

主に**景観形成や緑化推進、生活交通の確保など都市環境**に関する指標（基本方針2-3）は、関連施策の実績も良好で、その多くが目標値を達成しています。

一方で、**高齢者等に配慮した住宅供給や住環境づくり**に関する指標（基本方針1-2、1-3）、**既存ストックの維持管理や活用**に関する指標（基本方針3-2）については、目標値を達成できていないものが多いため、取組みの強化や見直し等を検討する必要があります。

現草津市空き家等対策計画の取組状況

◆現計画の基本方針毎の取組み

| 基本方針 | 取組み |
|-----------------------------------|---|
| ①戸建空き家等の発生の抑制 | 住宅の相続セミナー 広報掲載や市ホームページ、各種イベントでの啓発 など |
| ②戸建空き家等の適切な管理の促進 | 所有者への適正管理指導 |
| ③地域特性に応じた戸建空き家等 およびその跡地の利活用の促進 | 草津市空き家情報バンクの運営・管理 |
| ④所有者等、行政、地域その他の 団体・事業者等の協働 | 住宅の相続セミナー（再掲） 広報掲載や市ホームページ、各種イベントでの啓発（再掲） 滋賀県空き家管理等基盤強化推進協議会との連携 など |

◆主な取組実績

・毎年、住宅の相続セミナーや司法書士による無料相談会を同時開催し、戸建空き家等の未然防止に向けた啓発を行いました。(方針①、④)

(参考)R3セミナー参加者数 19名

・管理不全空き家に対して、現地確認と所有者の特定を行い、必要に応じて文書送付、電話連絡や直接訪問などにより適正に管理するよう指導を行いました。(方針②)

(参考)R3指導件数 21件(うち反応・改善有 16件)

・空き家情報バンクの運営および広報、ホームページなどによる啓発を行いました。(方針③)

(参考)R3末時点空き家バンク累計物件登録件数 2件
 累計利用登録件数 8件
 累計成約件数 1件

◆現計画における戸建空き家等対策の体系イメージ

